

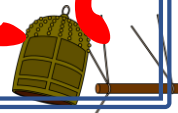
アトリエ 琉游舎 だより 109号

アトリエ琉游舎 ryuyusha.com/
 琉游舎for healing <https://toi101izuru.wixsite.com/mysite-3>

2021年7月14日発行



百八つの鐘を撞き終えて



- 前回の琉游舎だよりで百八の鐘を撞き終えて、今回からまた新たに鐘を撞き始めることとなりました。仏教徒にとって百八は意味の深い数字ですので、前号では煩惱について触れるべきだったのですが、実は108号を書き上げてからそのことに気づいた次第、後の祭りでした。
- 人には百八つの煩惱があるといわれています。煩惱は、人が生きる時に感じる苦しみの原因になるもので欲望や執着、嫉妬や怒りという言葉で表現されます。その数え方はいろいろあるようですが、人には数え切れない沢山の煩惱があると言うくらいの理解でいいでしょう。
- 例えば人生における苦しみである生・老・病・死の四苦に愛別離苦・怨憎会苦・求不得苦・五蘊盛苦を合わせたものが八苦です。これが「四苦八苦」です。「苦」を「九」に置き換えると、 $4 \times 9 + 8 \times 9 = 108$ で人間の苦しみの根源である煩惱は108あるというお話です。
- あるいは「眼・耳・鼻・舌・身・意」の6感が受け取る「好・悪・平」さらに「浄・染」で $6 \times 3 \times 2 = 36$ 。「前世・今世・来世」で $36 \times 3 = 108$ というお話もあります。私には人を煙に巻くようなこじつけ話にしか見えないのですが、これも私の煩惱のなせる技でしょうか。
- 仏教の理想は煩惱の炎が消え去った涅槃の状態、悟りや解脱と言われるものです。しかし肉体が存在する限りそれは現実的ではありません。私も含めてみんなそのことを十分理解しているので、百八つの鐘を撞くことで目の前の煩惱一つずつ消したつもりになりたいのです。煩惱を一つ消してはまた新しい煩惱を生み出すという営みが、生活であり生きていく証です。煩惱は人が生きていくためのエネルギーであり生命力だから、それでいいのです。
- 今、巷では”安全安心”呪文が飛び交っています。コロナの戦闘力が勝るか、私たちの宴会したい旅行したい五輪見たいの煩惱が勝るか、生命力の強い方が勝ちます。しかし”安全安心”呪文が煩惱（生命エネルギー）を低下させる悪魔の呪いに聞こえるのは私だけでしょうか。

7・8月スケジュール

7月			8月			
月	火	水	木	金	土	日
19	20	21	22 映画会 お休み	23	24	25
26	27 読書会 13時半	28	29 映画会 13時半	30	31	8月1日 写経会 13時半
2	3	4	5 映画会 13時半	6	7 原爆 写真展	8 原爆 写真展
9	10 読書会 13時半	11	12 映画会 13時半	13	14	15 お盆施餓鬼法要 10時半
16	17	18	19 映画会 お休み	20	21	22

写経会
8月1日(日)
13時半から

読書会
7月27日(火)
8月10日(火)
16時半から

**居酒屋の会
と詩話会は
しばらく
お休みです**

映画会
7月15日(火)
8月19日(金)
お休みします

“コピペ”は大変便利な機能です。私も狂言綺語で引用する文はこの機能を最大限利用しています。パソコン上の電子データをコピーしそれを別の場所にペースト（転写）すれば、あっという間に同じデータが複製されます。これを書写していた時代は時間も手間もかかり写し間違いも多かったはずですが、コピペのメリットは効率よく間違いなく転写できるということだけです。引用は他人の言説をオウム返しに繰り返すことではありません。引用者が自分の考えを述べるためにする創作行為です。例えば浄土真宗の開祖親鸞の名著「教行信証」は”鎌倉前期の仏教書。親鸞撰。6巻。広く経典や解釈論の中から念仏往生の要文を抜粋・編集し、浄土真宗の教義を組織体系化した書。“注1と解説されています。この大著のどのページを開いても経典や経論の引用とそれに対する親鸞の解釈（教義）がコメントされています。彼は今までの念仏浄土に関わる教えに飽き足らず、新たな教義の確立のために要文を引用し編集しているのです。編集は自分の考えを伝えるための知的創造です。その意識も能力もなければ、引用は単なるコピペになってしまうのです。

“世界が新型コロナという大きな困難に直面する今だからこそ、私たちが団結してこの困難を乗り越えられることを世界に発信する大会としたい” “今回の大会は多くの制約があり、これまでの大会と異なるが、だからこそ安心安全な大会を成功させ、未来を生きる子どもたちに夢と希望を与える歴史に残る大会を実現したい”先日の首相会見の発言をネットからコピペしたものです。言葉だけを聞くと、国会答弁なのかぶら下がり会見なのか何回目の公式会見なのか、私には区別が付きません。また声と映像がなければ、大会組織委員長か五輪大臣か官房長官かIOCかJOCの会長か誰が語った言葉かも区別がつかないでしょう。それはこの言葉と内容がコピペだからです。この言葉を語る人達には何を伝え行くかの意志がそもそもないからです。意志はそれを実現させるための願いです。「願い、誓い、行う」ための宣言であり出発点です。そこから意志の実現に向けて歩みが始まります。しかし彼らの言葉は決して行いとなって実践されることはないでしょう。権力者のコピペはその行為自体で完結しているからです。学生がネットから他人の論述をコピペしてレポート提出し、バレて落第の憂き目に遭う場合とは全く異なります。これは盗用です。社会経験を積めばこんな単純な盗用はしません。バレないように改ざん・編集をして、何とかコピペの痕跡を隠そうと努力をします。但しバレたときのダメージは絶大で、社会的地位を失ってしまうでしょう。一方、権力者のコピペは、隠すことなく大量に複製しそれを日本中に溢れさせることが目的です。最初は本当にそうかなと疑問を持ってても”団結””困難を乗り越える””安心安全””夢と希望”などの耳当りのよい呪文の繰り返しに、私たちの疑問は飲み込まれてしまうでしょう。気分て人々の行動を制御できれば言葉の実現はどうでもよいことなのです。

“異体同心なれば万事を成じ同体異心なれば諸事叶う事なしと申す。（中略）一人の心なれども二つの心あれば其の心たがいて成ずる事なし、百人・千人なれども一つ心なれば必ず事を成ず、日本国の人人は多人なれども体同異心なれば諸事成ぜん事かたし、日蓮が一類は異体同心なれば人人すくなく候へども大事を成じて一定法華経ひろまりなんと覚へ候”注2 日蓮聖人はこの遺文で一人の人間に二つの心があっては何事も成就できない、何百千の人がいても心が一つ（異体同心）であれば必ず事は成就するが、日本国の人は同体異心だから何事も成し遂げることが出来ない。しかし日蓮の信者は数は少なくとも異体同心だから法華経の教えは広まるだろうと述べています。この言葉はよくよく身にあてて吟味しなければならない言葉です。人は本来「異体異心」の生き物です。体も心も能力も行動も各々違うからです。一人の人間にも二つの心（迷い）があればどちらつかずで右往左往するばかり、ましてや多くの人間が異体異心のまま世に溢れたら制御不能な社会が出現し、人々は迷いの中で苦悩の日々を送ることになってしまうでしょう。宗教者は人々の心に安らぎを与える方法を示し実践する者です。日蓮聖人は異心の人びとを法華経を紐帯にして同心に導きました。この娑婆世界に寂光土（安らぎの処）を実現させるという誓願が、多くの異体を法華経の実践の下に導き、同心となりました。題目を唱えることが法華経の実践ではありません。それは実践者として同心であることを、自らと同心者と久遠実成の釈迦牟尼仏に報告する行為に過ぎません。もし、題目を唱えることが聖人の誓願した「異体同心」の実践と主張するならば、それは”団結””困難を乗り越える””安心安全””夢と希望”の呪文をコピペして、感情で「異心」を「同心」へと制御しようとする権力意志の行使です。宗教意志は安らぎの処へ向かって実践の日々をともに歩む意志です。各々の「異体」が各々の実践の歩みに向かって「同心」となる、それが日蓮聖人の言われる「異体同心」です。権力意志は「異体」を同じ感情の中に閉じ込め、その行動をコントロールする意志です。それが権力意志の「異体同心」です。聖人の「異体同心」をよくよく我が身に当てて観たとき、宗教もどきと言われただけの行ないを実践している宗教者はいるのでしょうか。

ところで2020は復興五輪が旗印だったような記憶があるのですが、いつからコロナに打ち勝った証となったのでしょうか。まだ勝負が決したわけではないので、正しくはコロナに打ち勝った証としたいという願望をコピペ会見は述べただけです。それでも9月になって感染者が増え続けていたら、何と総括するのでしょうか。と今はあれこれ言っている私も、きっと五輪の中継が始まればテレビの前に釘付けになり、日本選手の活躍に、一喜一憂するのでしょうか。ハレ（非日常）とケ（日常）で言えば五輪中はハレです。琉游舎：戸井 出琉・恭子ではコロナはハレでしょうかケでしょうか。民俗学的に言えばケガレかもお問い合わせ先：0287-53-7848 08033508152 矢板市大槻2319-17コリーナ矢板C-850 しれません。であればその期間は喪に服さなければならないのですか、 、 、 メール：toi10lizuru@outlook.jp